

実際にふれ、生きた学びが・・・

～修学旅行第1日目～

6月2日(日)・3日(月)、本校と山香小学校、立石小学校と、3校連合による1泊2日の修学旅行を実施しました。

早朝6時30分に学校集合。リュックにつけられた前日1年生からプレゼントされた手作りしてる坊主がゆれていきます。リュックの中に大事にしまっている子もいます。

本校を6時45分に出発。山香小学校で立石小の子どもを乗せたバスと合流。2台のバスに山香小の子どもが分乗し、連合による旅行がスタートしました。途中トイレ休憩をはさみながら、9時過ぎに佐賀県吉野ヶ里に到着しました。

吉野ヶ里歴史公園では、まず3校合同の結団式を行いました。その中で、私から3校の全員の子どもたちに、『①修学旅行にあたり決めためあてに向かって、よい学びをつくっていきましょう ②3校で一緒に行く修学旅行ですから、他校の人と仲よくなれるといいですね ③集団行動をしますから、時刻を守りましょう』と、修学旅行で大事にしてほしいことを、3つお話ししました。

結団式が終わり、いよいよ見学の始まりです。ここ吉野ヶ里歴史公園は、弥生時代の貴重な遺跡がある場所です。社会科で弥生時代のことを学習している子どもたちですが、当時の様子を復元した建物や遺構・遺物を目にするのは初めてです。



みんな興味深く見学しています。王の家では、中に入ると、外観からは想像できなかったのでしょうか。「広い！」との驚きの声が聞こえてきました。

高床倉庫が複数あり、ねずみ返しがある倉庫とない倉庫があります。子どもたちに「どうしてだろう？」と聞くと、「ねずみ返しがあるのは食料を置いてある倉庫で、ないものは食料ではない用具を置いていたのでは」等の答え。貴重な米などの作物を湿気や害虫から守ろうとしていた昔の人の知恵にもしっかりとふれることができました。



弥生時代に思いを馳せながら見学した吉野ヶ里歴史公園を、10時50分に出発。長崎市へ向かいます。12時半に市内の昼食会場で昼食。長崎名物のトルコライスを食べます。中華料理店でおなじみの円卓に、職員も含めみんな座り、テーブルを回転させて上に置かれたものを取る職

員の様子を珍しそうに見ていた子どもたちが印象的でした。午後から平和公園、原爆落下中心地、原爆資料館の見学です。平和公園の祈念像の前で、以下の平和への思いを誓いました。

僕たちが考える平和な世界は、みんなが仲よくする世界、緑豊かで一人一人を大切にする世界、犯罪やいじめ、戦争などがない世界です。

今までの平和学習で学んできて、低学年の時は平和は当たり前のことだと思っていました。だけど、学年が上がるにつれて、平和は当たり前のことじゃないし、戦争の写真や戦争を体験した人の話などを聞いて、人が亡くなったり、けが人が出たり、家や建物が崩れたりして、戦争は恐ろしく悲惨で辛いものだということがわかりました。だから、戦争はもうやってはいけないものだと思いました。

平和な世界をつくるために、今僕たちができることを考えました。

・けんかを極力しない ・いじめなど人を傷つけるようなことはしない ・相手を怒らせない ・けんかしてもすぐに仲直りする ・いつも笑顔で友だちと仲よく過ごす ・友だちとの仲を深める

ここに誓います

原爆資料館では、原爆によって破壊された街や人々の生活の品々を、みんな真剣な顔つきで見つめています。当時の街の様子が映し出されたビデオの前では、足を止めじっと見つめている子もいます。当時の悲惨な状況を、しっかり目に焼き付けているようです。現在の街とは全く違った様子を目の当たりにし、それぞれに平和がどれだけ大切なものか、また、これからの世も平和が続いていこうにしていかなければならないという思いを強くしたにちがいありません。



吉野ヶ里歴史公園と原爆資料館での自由行動では、子どもたちが見たい場所を決め、子ども主体で行動できるようにしました。当然、時間管理も子どもたちがします。「〇〇の場所に〇時〇分には集合してください」とのバスガイドの指示のもと、時間管理担当の子が定期的に時計を見て、集合時刻に遅れないように友達に声をかけています。また、他の子どもたちも協力して行動し、常に集合時刻に遅れることなく集まることができました。朝、私が子どもたちに話したひとつの『時刻を守る』がきちんと実践でき、頭での学びが実際の事物を目の当たりにしてより生きた学びとなった1日目でした。